

平成27年度事業報告

1. 平成27年度優秀業績の表彰

平成27年度優秀業績については慎重に検討された結果、

石田 直 氏 (公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院呼吸器内科)

「Clinical characteristics of severe community-acquired pneumonia among younger patients:
An analysis of 18 years at a community hospital」

(Journal of Infection and Chemotherapy Vol.20, No.8 p471-6 Tadashi Ishida 他11名)

以上、1件に二木賞が授与されることとなった。

輪島 丈明 氏 (東京薬科大学薬学部病原微生物学教室)

「Molecular Characterization of Invasive *Streptococcus dysgalactiae* subsp. *equisimilis*, Japan」
(Emerging Infectious Diseases 2016; 247-54 Wajima Takeaki 他6名)

上記の研究業績に対して日本感染症学会北里柴三郎記念学術奨励賞が授与されることとなった。

2. 講演会

平成27年4月16日～17日、国立京都国際会館において第89回学術講演会を一山 智会長のもとに開催した。

a 会員の業績研究発表

口演：207題

ポスター：371題

b 招請講演

3題

1 Navigating the CRE Storm—Evaluation of Prevention and Management Strategies 司会：長崎大学病院 河野 茂
Wayne State University and Detroit Medical Center, MI, USA Keith S. Kaye

2 iPS 細胞研究の現状と医療応用に向けた取り組み 司会：東京大学医科学研究所 岩本 愛吉
京都大学 iPS 細胞研究所 山中 伸弥

3 New Prospectives on Immunomodulatory Therapy for Sepsis 司会：慶應義塾大学 相川 直樹
Infectious Disease Division of Brown University Providence, RI, USA Steven M. Opal

c 特別講演

2題

1 国際的な新興再興感染症の動きと日本の状況 司会：東北大学大学院医学系研究科感染制御・検査診断学 賀来 満夫
川崎市健康安全研究所 岡部 信彦

2 現代社会における感染症の脅威と対策 司会：福井大学医学部附属病院 上田 孝典
国立感染症研究所 渡邊 治雄

d 教育講演

13題

1 感染症専門医制度 司会：慶應義塾大学医学部感染症学教室 岩田 敏
愛媛大学大学院血液・免疫・感染症内科 安川 正貴

2 自然免疫による炎症の惹起とその調節機構 司会：杏林大学医学部感染症学講座 神谷 茂
京都大学ウイルス研究所,CREST 竹内 理

3 Sepsis 診療の最新のエビデンス 司会：福岡市立こども病院小児感染症科 青木 知信
千葉大学大学院医学研究院救急集中治療医学 織田 成人

4 節足動物とくにダニの生態に拠る感染症の発生動向 司会：福井大学医学部附属病院・感染制御部感染症膠原病内科 岩崎 博道
福井大学,医学野外研究支援会 高田 伸弘

5 HIV 治療の最新動向:治癒を目指した治療開発 司会：国立国際医療研究センター!エイズ治療・研究開発センター 岡 慎一
京都大学医学研究科血液・腫瘍内科学 高折 晃史

6 脂質免疫:結核菌やエイズウイルスに対抗する新しい獲得免疫システム 司会：国立感染症研究所感染症疫学センター 大石 和徳
京都大学ウイルス研究所 杉田 昌彦

7 エビデンスの収集・解析・算出と実践的解釈 司会：琉球大学大学院医学研究科感染症・呼吸器・消化器内科学 藤田 次郎
佐賀大学医学部国際医療学講座臨床感染症学分野 青木 洋介

8 新しい抗菌薬開発の方向性と展望 司会：信楽園病院 青木 信樹
愛知医科大学大学院医学研究科臨床感染症学 三嶋 廣繁

9 薬剤耐性菌感染症の現状と対策 司会：名古屋大学大学院医学系研究科分子病原細菌学/耐性菌制御学分野 荒川 宜親
東京医科大学微生物学分野 松本 哲哉

10 ゲノムから見た細菌の進化—CRISPR による生存戦略— 司会：厚生会木沢記念病院 渡邊 邦友
京都大学大学院医学研究科微生物感染症学分野 中川 一路

11 プライマリーケアで有用な新規検査法の開発 司会：岐阜大学大学院医学系研究科病原体制御学 江崎 孝行
東邦大学医学部微生物・感染症学講座 館田 一博

12	外科感染症 up to date	司会：和歌山県立医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科 兵庫医科大学感染制御学	山中 昇 竹末 芳生
13	西アフリカでのエボラ出血熱アウトブレイク	司会：鹿児島大学大学院医歯学総合研究科微生物学分野,鹿児島大学病院医療環境安全部感染制御部門 国立国際医療研究センター国際感染症センター国際感染症対策室	西 順一郎 加藤 康幸
e	シンポジウム		11題
1	JAID/JSC 感染症治療ガイド 2014 年改訂版はどこが変わった？	司会：大阪大学医学部附属病院感染制御部 奈良県立医科大学感染症センター 奈良県立医科大学感染症センター	朝野 和典 三笠 桂一 笠原 敬
1)	1) 呼吸器感染症		
2)	2) 敗血症・発熱性好中球減少症	国立国際医療研究センター病院国際感染症センター	大曲 貴夫
3)	3) 感染性心内膜炎・細菌性髄膜炎	帝京大学医学部附属病院感染制御部,帝京大学医学部内科学講座(感染症)	松永 直久
4)	4) 耐性菌,ブレイクポイント,PK-PD	東邦大学医学部微生物・感染症学講座	石井 良和
2	2 医療関連感染対策のポイント—薬剤耐性菌感染・ウイルス感染アウトブレイクにいかに対応するか—	司会：神戸大学医学部附属病院感染制御部 埼玉医科大学感染症科・感染制御科	荒川 創一 前崎 繁文
1)	1) 医師(ICD)の立場から—当院における CRE のアウトブレイクへの対応	国立病院機構大阪医療センター感染症内科	上平 朝子
2)	2) 耐性グラム陰性桿菌への対応	広島大学病院感染管理室	森 美菜子
3)	3) 薬剤師(BCICPS)の立場から—曝露後予防投与について—	慶應義塾大学薬学部実務薬学講座	松元 一明
4)	4) 臨床検査技師(ICMT)の立場から	一般財団法人住友病院臨床検査技術科	幸福 知己
3	3 変貌する真菌症とその対策	司会：千葉大学真菌医学研究センター 国立感染症研究所真菌部	亀井 克彦 宮崎 義継
1)	1) 起因菌の多様化と臨床へのインパクト	千葉大学真菌医学研究センター	渡辺 哲
2)	2) 深在性真菌感染症の診断法の現状と展望	埼玉医科大学総合医療センター感染症科・感染制御科	大野 秀明
3)	3) 治療薬開発の現状	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科感染免疫学講座(第二内科)	宮崎 泰可
4)	4) 接合菌による院内アウトブレイクと考えられた事例	東京歯科大学市川総合病院呼吸器内科	寺嶋 毅
4	4 カルバペネム耐性腸内細菌にどう備え, どう対応するか	司会：産業医科大学名誉教授 東京慈恵会医科大学感染制御部	松本 哲朗 堀 誠治
1)	1) カルバペネム耐性腸内細菌科細菌(CRE)の細菌学的特徴	東邦大学医学部微生物・感染症学講座	石井 良和
2)	2) CRE—国内外の疫学	Division of Infectious Diseases, University of Pittsburgh School of Medicine	土井 洋平
3)	3) CRE の検出法	長崎大学病院検査部	小佐井康介
4)	4) CRE のアウトブレイクへの対応	聖マリアンナ医科大学微生物学, 聖マリアンナ医科大学病院感染制御部	竹村 弘
5	5 インフルエンザの重症化予防	司会：京都市立病院感染症科 札幌医科大学医学部小児科	清水 恒広 堤 裕幸
1)	1) インフルエンザパンデミック準備 (Influenza Pandemic Preparedness) ~WHO 西太平洋地域事務局における取組み	国立感染症研究所感染症疫学センター	松井 珠乃
2)	2) インフルエンザ薬剤耐性株の国内および諸外国での流行状況	国立感染症研究所インフルエンザウイルス研究センター	小田切孝人
3)	3) インフルエンザ脳症の現状	東京医科大学小児科	河島 尚志
4)	4) インフルエンザ関連肺炎	聖マリアンナ医科大学内科学総合診療内科	國島 広之
5)	5) インフルエンザに続発する細菌性肺炎の治療と重症化予防戦略	大分大学医学部呼吸器・感染症内科学講座	門田 淳一
6	6 感染症領域における次世代シーケンサー&メタゲノム解析の将来展望	司会：慶應義塾大学医学部感染症学教室 帝京大学医学部微生物学講座	生方 公子 斧 康雄
1)	1) 感染症診断における次世代シーケンサーの活用	東京女子医科大学感染症科	菊池 賢
2)	2) 次世代 DNA シーケンサーによる病原体検出	大阪大学微生物病研究所感染症国際研究センター	飯田 哲也
3)	3) PCR bias を逆利用した 16S メタゲノム精査解析法	愛知学院大学薬学部微生物学講座	河村 好章
4)	4) 感染症診断における新展開：メタゲノムデータの応用から次世代診断機器まで	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科病態解析・診断学分野(臨床検査医学), 長崎大学病院検査部	柳原 克紀
7	7 感染症の新しい検査法と臨床現場への応用	司会：東邦大学看護学部感染制御学 東邦大学大学院医学研究科先端医学研究センター	小林 寅喆 宮崎 修一
1)	1) 臨床微生物検査と感染症診断の視点から	東京医科大学微生物学分野	大楠 清文
2)	2) 感染症の診断・治療の視点から	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科病態解析・診断学	森永 芳智
3)	3) 新しい検査技術の感染制御への活用	京都府立医科大学附属病院臨床検査部	小森 敏明
4)	4) 感染制御の視点から	九州大学病院グローバル感染症センター	下野 信行
8	8 オリンピックなどのmass gatheringにおける感染症対策を考える	司会：慶應義塾大学医学部感染制御センター 福島県立医科大学感染制御医学講座	長谷川直樹 金光 敬二
1)	1) Mass gatheringと感染症	東北大学病院	中島 一敏
2)	2) 感染症サーベイランスの強化戦略—日韓ワールドカップサッカーからこれまでの経験—	国立病院機構三重病院臨床研究部	谷口 清州
3)	3) 大都市自治体の視点からの“Gathering Health”~2020 東京オリンピックに向けた課題~	東京都福祉保健局	前田 秀雄
4)	4) バイオテロ対策	防衛医学研究センター	加來 浩器
5)	5) マスギャザリングにおける救急医療・集団災害医療体制の構築について	武蔵野赤十字病院救命救急センター/日本集団災害 Mass Gathering 医療検討委員会	勝見 敦

9	病院感染症医—Infectious Disease Hospitalist—の育成～副題：人材を、いつまでに、どう育て、どのように 検証するか～	司会：関西医科大学附属枚方病院呼吸器・感染症内科 岐阜大学医学部附属病院生体支援センター 佐賀大学医学部国際医療学講座／附属病院感染制御部	宮良 高維 村上 啓雄 青木 洋介
1)	病院感染症医の必要性		
2)	病院感染症医が行う診療科横断的感染症診療	富山大学大学院医学薬学研究所感染予防医学講座、富山大学附属病院感染症科／感染制御部	山本 善裕
3)	病院感染症医と医療感染防止対策	自治医科大学附属病院感染制御部	森澤 雄司
4)	病院感染症医による病院マネジメント能力と人材育成	京都府立医科大学感染制御検査医学	藤田 直久
10	水痘ウイルスとワクチン	司会：国立感染症研究所感染症疫学センター 長崎大学病院小児科	多屋 馨子 森内 浩幸
1)	当院における水痘ワクチン接種成績—その免疫原性と安全性—	江南厚生病院こども医療センター	尾崎 隆男
2)	水痘ワクチン定期接種化：海外の先行研究と我々の取り組み	藤田保健衛生大学医学部小児科学	吉川 哲史
3)	現行の水痘ワクチンを用いた次世代ワクチンの開発	神戸大学大学院医学研究科感染症センター	森 康子
4)	水痘ワクチンの定期接種化について	川崎市健康安全研究所	岡部 信彦
11	Sepsis 診療 up to date：予後改善のための最新診療アプローチ	司会：金沢医科大学臨床感染症学 産業医科大学医学部救急医学 岩手医科大学医学部救急医学講座	馬場 尚志 真弓 俊彦 鈴木 泰
1)	敗血症の疫学 日本と海外の比較を中心に	北里大学抗感染症薬研究センター感染防御学	花木 秀明
2)	敗血症診断マーカーの活用	京都医療センター救命救急センター／救命救急科	志馬 伸朗
3)	敗血症における抗菌治療の最新エビデンス	産業医科大学医学部救急医学	真弓 俊彦
4)	敗血症に対する抗菌薬以外の治療法—有用で信頼できる治療法は？—		
f	日本化学療法学会合同シンポジウム		1 題
1	Antimicrobial Stewardship の基本と応用	司会：昭和大学医学部内科学講座臨床感染症学部門 東邦大学医学部微生物・感染症学講座	二木 芳人 館田 一博
1)	「主治医の立場」を考慮した AS とは	新潟大学大学院医歯薬学総合病院感染管理部	田邊 嘉也
2)	薬剤師の立場から	杏林大学医学部付属病院医療安全管理部感染対策室	西 圭史
3)	抗菌薬適正使用の中での微生物検査データの活用法	西神戸医療センター臨床検査技術部	山本 剛
4)	感染制御医の立場から	東邦大学医療センター大森病院感染管理部	吉澤 定子
g	日本結核病学会共同シンポジウム		1 題
	結核病研究の最前線	司会：京都大学大学院医学研究科微生物感染症学 大阪府結核予防会大阪病院 浜松医科大学医学部感染症学講座	河村伊久雄 松本 智成 瀬戸真太郎
1)	マクロファージの小胞輸送機構からひもとく結核菌寄生戦略	日本 BCG 研究所	山本 三郎
2)	新規結核ワクチン開発研究の最前線	公益財団法人結核予防会結核研究所	加藤 誠也
3)	結核感染をめぐる研究の進歩	(公財) 結核予防会複十字病院	吉山 崇
4)	新薬デラマニドとベダキリンの臨床効果		
h	ベーシックレクチャー		9 題
1	移植医療における感染症マネジメント	司会：福岡大学病院感染制御部 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科臨床感染症学、長崎大学病院感染制御教育センター	高田 徹 泉川 公一
2	マクロライド耐性肺炎マイコプラズマ感染症～実態と対応・明日のために非流行期の今こそ聞いて戴きたいこと～	司会：産業医科大学呼吸器内科学 札幌徳洲会病院小児科	迎 寛 成田 光生
3	ニューモシスチス肺炎の新局面	司会：名古屋大学大学院医学系研究科臨床感染統御学分野 JCHO 東京山手メディカルセンター呼吸器内科、東京女子医科大学附属膠原病リウマチ痛風センター	八木 哲也 徳田 均
4	開発途上国における感染症診療～ブータン王国での臨床経験から～	司会：東京都立墨東病院感染症科 University of Medical Sciences of Bhutan Jigme Dorji Wangchuck National Referral Hospital	大西 健児 西澤 和子
5	化学療法・免疫抑制剤により再活性化するB型肝炎ウイルスの基礎知識	司会：浜松医療センター 京都大学大学院医学研究科消化器内科	矢野邦 夫 丸澤 宏
6	ヒトパレコウイルス 3 型感染症の最新の知見	司会：新潟大学医歯学総合研究科小児科学分野 新潟大学大学院医歯学総合研究科小児科学分野	齋藤 昭彦 相澤 悠太
7	<i>Clostridium difficile</i> 感染症—知っておきたいこと—	司会：広島大学病院感染症科 国立感染「症研究所細菌第二部	大毛 宏喜 加藤 はる
8	「クローン」の視点で理解する薬剤耐性グラム陰性桿菌	司会：兵庫医科大学泌尿器科 京都大学医学部附属病院検査部・感染制御部	山本 新吾 松村 康史
9	泌尿器感染症 To do or not to do	司会：東京慈恵会医科大学葛飾医療センター泌尿器科 兵庫医科大学医学部泌尿器科	清田 浩 東郷 容和
i	モーニングセッション		1 題
	症例から考える耐性菌感染症の診療	司会：独立行政法人国立国際医療研究センター国際感染症センター Division of Infectious Diseases, University of Pittsburgh School of Medicine	大曲 貴夫 土井 洋平
j	ワークショップ		1 題
	薬剤耐性菌の制御		
1)	共同研究報告 薬剤耐性大腸菌の分子疫学解析		
2)	一家に一枚 薬剤耐性分類と耐性菌検査 (改訂第 2 版)		
k	委員会報告		1 題
	日本化学療法学会・日本感染症学会・日本臨床微生物学会 三学会合同抗菌薬感受性サーベイランス事業	司会：三学会合同抗菌薬感受性サーベイランス実務委員会調整委員	青木 信樹

1) 皮膚科領域感染症	三学会合同抗菌薬感受性サーベイランス実務委員 (領域責任者), 帝京大学医学部皮膚科	渡辺 晋一
2) 歯科・口腔外科領域感染症	三学会合同抗菌薬感受性サーベイランス実務委員 (領域責任者), 東海大学医学部外科学系口腔外科	金子 明寛
1 モーニングセミナー		2 題
1 周術期管理におけるプロカルシトニン測定の有有用性～もし大学病院の外科医がビジネス書を読んだら～	司会: 東邦大学医療センター大橋病院外科 京都大学肝胆膵移植外科・臓器移植医療部	草地 信也 海道 利実
2	司会: イルミナ株式会社営業本部	武井 亮穂
1) 次世代シーケンサーを用いた感染症解析への取り組み	イルミナ株式会社シーケンススペシャリスト	鈴木 健介
2) 微生物ゲノミクスと公衆衛生学的活用	国立感染症研究所・病原体ゲノム解析研究センター 東北大学加齢医学研究所抗感染症薬開発研究部門	黒田 誠 渡辺 彰
m ランチョンセミナー		20 題
1 侵襲性カンジダ症における Antifungal heterogeneity	司会: 長崎大学	河野 茂
1) 外科救急・集中治療領域における侵襲性カンジダの治療戦略	愛知医科大学病院感染症科, 愛知医科大学病院感染制御部	山岸 由佳
2) カンジダ眼内炎の診断と治療—眼科医からみた抗真菌薬の特性—	岐阜大学医学部附属病院眼科	望月 清文
2 深在性真菌症の診療—ガイドラインと最新のエビデンスを踏まえて—	司会: 埼玉医科大学感染症科・感染制御科 長崎大学大学院臨床感染症学分野, 長崎大学病院呼吸器内科 (第二内科)	前崎 繁文 宮崎 泰可
3 呼吸器感染症と Streptococcus 属・嫌気性菌	司会: 東京医科大学微生物学分野 愛知医科大学大学院医学研究科臨床感染症学	松本 哲哉 三嶋 廣繁
4 ガイドライン・エビデンスを読み解く～肺アスペルギルス症診療のポイント～	司会: 千葉大学真菌医学研究センター臨床感染症分野 大阪市立大学大学院医学研究科臨床感染制御学	亀井 克彦 掛屋 弘
5 呼吸器感染症迅速診断の展望	司会: 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科感染免疫学講座臨床感染症学分野 公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構倉敷中央病院呼吸器内科	泉川 公一 石田 直
6 呼吸器感染症の病原微生物の変貌—見えてきたウイルス性呼吸器感染症のアウトブレイク—	司会: 信楽園病院 琉球大学大学院医学研究科感染症・呼吸器・消化器内科学 (第一内科)	青木 信樹 藤田 次郎
7 嫌気性菌感染症の遺伝子診断と抗菌化学療法	司会: 東邦大学医学部微生物・感染症学講座 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科病態解析・診断学	館田 一博 森永 芳智
8 気管支喘息 COPD 患者とインフルエンザ	司会: 昭和大学医学部内科学講座臨床感染症学部門 岸和田市民病院呼吸器内科	二木 芳人 加藤 元一
9 プロバイオティクスによる新たなアプローチ	司会: 東北大学大学院医学系研究科感染制御・検査診断学分野 聖マリアンナ医科大学内科学総合診療内科	賀来 満夫 國島 広之
10 臨床医からみた HIV 検査法の進歩と判定方法	司会: 国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター 川崎医科大学血液内科学	岡 慎一 和田 秀穂
11 肝炎ウイルスと感染制御—最新の動向と対策—	司会: 京都大学大学院医学研究科臨床病態検査学 独) 国立国際医療研究センター肝炎・免疫研究センター	一山 智 溝上 雅史
12 病院感染で問題となる耐性菌の検出状況および日常検査室で実施可能な耐性菌鑑別法	司会: 慶應義塾大学医学部感染制御センター ミロクメディカルラボラトリー	長谷川直樹 柳沢 英二
13 高齢者肺炎の治療と予防戦略 2015	司会: 金沢医科大学医学部臨床医学臨床感染症学 大分大学医学部呼吸器・感染症内科学講座	飯沼 由嗣 門田 淳一
14 敗血症と血液培養～その実践と適用を再考する	司会: 帝京大学医学部微生物学講座 国立病院機構京都医療センター救命救急センター 救命救急部 感染制御部	斧 康雄 志馬 伸朗
15 長期化する抗 HIV 薬治療における単剤治療 (STR) の意義と役割	司会: 国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター 国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター	菊池 嘉 照屋 勝治
16 結核診断における Interferon Gamma Release Assay (IGRA) の意義	司会: 杏林大学医学部感染症学 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科病態解析・診断学 (臨床検査医学) 同病院検査部	神谷 茂 柳原 克紀
17 B 型肝炎ウイルス感染症: 再活性化, 肝炎劇症化の実態と対策	司会: 京都府立医科大学感染制御検査医学 京都府立医科大学附属病院臨床検査部・感染対策部 埼玉医科大学消化器内科・肝臓内科	藤田 直久 持田 智
18 診断スキル向上のための Critical Thinking—Detection of Bias and Prevention	司会: 愛媛大学大学院医学系研究科血液・免疫・感染症内科学 佐賀大学医学部国際医療学講座臨床感染症学分野・附属病院感染制御部	安川 正貴 青木 洋介
19 HIV 肝炎ウイルス重複感染における最新の治療戦略	司会: 東京大学医学部附属病院感染症内科	四柳 宏
1) HIV HBV 重複感染における最新の治療戦略	国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター	瀧永 博之
2) HIV HCV 重複感染における最新の治療戦略	九州大学病院総合診療科, 九州大学大学院感染制御医学	古庄 憲浩
20	司会: 横浜市市民病院	立川 夏夫
1) HIV 感染症の診療の実際～ドルテグラビルの使用状況を含めて～	国立病院機構名古屋医療センターエイズ治療開発センター	横幕 能行
2) HIV 感染症 エイズの治療 最前線	東京大学医科学研究所附属病院感染免疫内科	鯉淵 智彦
n イブニングセミナー		6 題
1 みんなで考える重症敗血症における合併症対策	司会: 兵庫医科大学感染制御学	竹末 芳生
1) 感染に伴う DIC の病態と診断～シンプルな理解のために～	北海道大学病院先進急性期医療センター	早川 峰司

- 2) 私が考える敗血症性 DIC 治療の実際！ 佐賀大学医学部救急医学講座 阪本雄一郎
日本大学医学部内科学系神経内科学分野 亀井 聡
- 2 インフルエンザの最新知識 2015～鳥及び新型インフルエンザを含めて～
司会：神戸大学医学部附属病院感染制御部 荒川 創一
東北大学加齢医学研究所抗感染症薬開発研究部門 渡辺 彰
- 3 司会：大阪大学医学部感染制御部 朝野 和典
- 1) マイコプラズマ感染症疫学の謎～その周期性・季節性・地域性・近年の歴史的大流行は何を物語るか～
札幌徳洲会病院小児科 成田 光生
- 2) 高齢社会における呼吸器感染症をどうマネジメントするか？～肺炎から慢性気道感染症まで～
大分大学医学部呼吸器・感染症内科学講座 門田 淳一
- 4 HIV感染症治療をめぐる最新事情～症例，ガイドラインから読み解く留意すべきポイント～
司会：東京慈恵会医科大学葛飾医療センター泌尿器科 清田 浩
国立病院機構大阪医療センター感染症内科 矢嶋敬史郎
- 1) 日和見疾患，長期療養の観点からみる HIV 診療のポイント
2) ガイドラインを中心にエビデンスベースの薬剤選択のポイント 横浜市立市民病院感染症内科 立川 夏夫
- 5 感染症診療における迅速診断の意義—質量分析法 (MALDITOF MS) の役割を中心に—
司会：岐阜大学医学部附属病院生体支援センター 村上 啓雄
長崎大学大学院医歯薬学総合研究所病態解析・診断学分野 (臨床検査医学)，同病院検査部 柳原 克紀
- 6 Unmet Medical Needs in anti HIV Therapy and the Role of CCR5 inhibitor 司会：東京大学医学研究所 岩本 愛吉
Irsicaixa Director, Head HIV and hepatitis coinfection Unit, Professor at UVICUCC & UAB Hospital Universitari
“Germans Trias i Pujol” Badalona, Catalonia, Spain Bonaventura Clotet
- o 症例から学ぶ感染症セミナー 1 題
- 司会：京都大学大学院医学研究科臨床病態検査部 高倉 俊二
獨協医科大学病院感染制御センター、感染制御・臨床検査医学講座 吉田 敦
- 症例1 佐賀大学医学部感染制御部 濱田 洋平
佐賀大学医学部国際医療学講座・臨床感染症学分野 青木 洋介
- 症例2 千葉大学真菌医学研究センター臨床感染症分野 渡辺 哲
杏林大学医学部第1内科 皿谷 健
- 京都大学大学院医学研究科臨床病態検査部 高倉 俊二
- p ICD講習会 1 題
- 臨床微生物学と感染症診療・感染制御 司会：東京慈恵会医科大学附属柏病院感染制御部 吉田 正樹
埼玉医科大学国際医療センター感染症科・感染制御科 光武耕太郎
- 1) 微生物検査の光と影 大阪大学医学部附属病院臨床検査部 豊川 真弘
- 2) 耐性菌を出さない感染症診療 亀田総合病院感染症科 細川 直登
- 3) 感染制御における微生物検査データの活用 金沢医科大学臨床感染症学 飯沼 由嗣
- 4) 自施設の感染防止に役立つサーベイランスについて 公立大学法人横浜市立大学附属病院感染制御部 満田 年宏

3. 雑誌刊行

1) 感染症学雑誌

89巻1号より逐次刊行した。
地方会学術集会プログラムを掲載した。

2) Journal of Infection and Chemotherapy

Vol.21, No.1より逐次刊行した。
インパクトファクター：1.486

4. 地方会

- ・第64回東日本地方会学術集会は、平成27年10月21日～23日の3日間、堤裕幸会長のもとで第62回日本化学療法学会東日本支部総会（坂田宏会長）と合同で札幌市・ロイトン札幌で行われた。
会長講演 2題、特別講演 2題、特別企画 1題、教育講演 14題、会長企画シンポジウム 2題、シンポジウム 4題、共催シンポジウム 1題、ワークショップ 1題、感染症セミナー 1題、教育セミナー 16題、イブニングセミナー 2題、ICD講習会 1題
一般演題 264題 (感染症：198題、化療：66題)
参加人数 934名
- ・第58回中日本地方会学術集会は、荒川創一会長のもとで、第85回西日本地方会学術集会は、青木知信会長のもとで平成27年10月15日～17日の3日間、第63回日本化学療法学会西日本支部総会（三笠桂一会長）と合同開催で奈良市・奈良春日野国際フォーラム薨～I・RA・KA～で行われた。
特別講演 3題、教育講演 12題、シンポジウム 6題、臨床検査技師企画 1題、特別報告 1題、感染症セミナー 1題、ICD講習会 1題、教育セミナー 16題
一般演題 339題 (中日本：104題、西日本：140題、西日本化療：95題)
参加人数 1445名

5. 院内感染対策講習会

- 1) 講習場所、期間及び人員
2) 講習内容

1. ①院内感染対策に関して、地域において指導的立場を担うことが期待される病院等の従事者を対象とした院内感染対策に関する講習会

院内感染対策のシステム化・連携	45分
院内感染関連微生物（新しい話題の感染症の種類と特徴を含む）と微生物検査	45分
医療機関における感染制御の基本	45分
院内ラウンドの実際とそのポイント	45分
抗菌薬および消毒薬の使用と管理	45分
医療器材関連感染	45分
呼吸器感染対策	45分
周術期感染対策	45分
血液媒介感染対策および職業感染対策等	45分
院内感染対策に関連する環境整備	45分
アウトブレイク対応の実際	45分
地域における感染対策のネットワーク構築	45分
院内・施設内感染関連法令	40分
パネルディスカッション	80分

2. ②. ①の受講対象となる医療機関と連携し、各医療機関の院内感染対策の推進を図ることを目的とした講習会

院内感染対策のシステム化・連携	45分
院内感染関連微生物（新しい話題の感染症の種類と特徴を含む）と微生物検査	45分
医療機関における感染制御	45分
高齢者介護施設における感染制御	45分
洗浄・消毒・滅菌の基本と実際	45分
抗菌薬の適正使用（薬剤の選択と投与計画）	45分
医療器材関連感染	45分
呼吸器感染対策	45分
血液媒介感染対策および職業感染対策	45分
周術期感染対策	45分
院内感染対策に関連する環境整備	45分
アウトブレイク対応の実際と地域ネットワーク・地域連携	45分
院内・施設内感染関連法令	40分
パネルディスカッション	80分

3. ③高度な医療を提供する特定機能病院等の院内感染対策の推進及び近隣医療機関等への指導助言体制の充実を図ることを目的とした講習会

大規模施設における感染対策システムの構築	45分
感染症サーベイランス・微生物モニタリングの実際	45分
院内ラウンドの実際とそのポイント	45分
抗菌薬および消毒薬の使用と管理	45分
新興感染症への対応（インフルエンザ、MERS-コロナウイルス感染症対策を含め）	45分
大規模流行を起こす感染症への対応（アウトブレイク対応）	45分
感染対策に関連する環境整備	45分
感染対策教育・研修システムの構築と人材育成	45分
リスクコミュニケーション・メディア対応	45分
感染対策における情報入手と活用法	45分
地域における感染対策ネットワーク構築	45分
院内・施設内感染関連法令	40分
感染対策活動事例の紹介	45分
パネルディスカッション	80分

①. 院内感染対策に関して、地域において指導的立場を担うことが期待される病院等の従事者を対象とした院内感染対策に関する講習会

有楽町朝日ホール	(医師)	平成28年 2月23日、24日	86名
	(看護師)	平成28年 2月23日、24日	183名
	(薬剤師)	平成28年 2月23日、24日	101名
	(臨床検査技師)	平成28年 2月23日、24日	90名
神戸国際会議場メインホール	(医師)	平成27年12月 7日、8日	76名
	(看護師)	平成27年12月 7日、8日	195名
	(薬剤師)	平成27年12月 7日、8日	87名
	(臨床検査技師)	平成27年12月 7日、8日	89名

②、①の受講対象となる医療機関と連携し、各医療機関の院内感染対策の推進を図ることを目的とした講習会

フォレスト仙台	(医 師)	平成27年12月 14日、15日	27 名
	(看護師)	平成27年12月 14日、15日	97 名
	(薬剤師)	平成27年12月 14日、15日	33 名
	(臨床検査技師)	平成27年12月 14日、15日	29 名
有楽町朝日ホール	(医 師)	平成28年 2月 2日、3日	66 名
	(看護師)	平成28年 2月 2日、3日	202 名
	(薬剤師)	平成28年 2月 2日、3日	80 名
	(臨床検査技師)	平成28年 2月 2日、3日	78 名
奈良県文化会館国際ホール	(医 師)	平成27年12月17日、18日	55 名
	(看護師)	平成27年12月17日、18日	171 名
	(薬剤師)	平成27年12月17日、18日	71 名
	(臨床検査技師)	平成27年12月17日、18日	67 名
長崎ブリックホール国際会議場	(医 師)	平成28年 1月26日、27日	42 名
	(看護師)	平成28年 1月26日、27日	108 名
	(薬剤師)	平成28年 1月26日、27日	43 名
	(臨床検査技師)	平成28年 1月26日、27日	47 名

③、高度な医療を提供する特定機能病院等の院内感染対策の推進及び近隣医療機関等への指導助言体制の充実を図ることを目的とした講習会

神戸国際会議場 国際会議場	平成27年12月 7日、8日	124 名
合 計		2247 名

6. 感染症専門医審議委員会

1) 感染症専門医試験合格者 75名

(敬称略)

浅畑さやか	安達 英輔	甘利 悠	有馬 聖永	石藤 智子	石松 祐二	井村 春樹	岩崎 教子
右藤 智啓	上菟 義典	大野 聖子	斧沢 京子	笠松 悠	加藤 博史	神田 潤	北菌 英隆
木村 孝穂	朽名 悟	國吉 保孝	栗山 明	神白麻衣子	小寺 聡	後藤 研誠	後藤 耕司
小林 鉄郎	小山 泰司	齊藤 信夫	坂上亜希子	佐々木秀悟	繁本 憲文	新谷 陽道	水堂 祐広
鈴木 清澄	鈴木 麻衣	諏訪 陽子	高木 理博	高橋 良平	高濱宗一郎	武田 孝一	田中 健之
谷崎隆太郎	田村 格	長神 康雄	津田 春香	坪内 和哉	東野 俊洋	戸根 一哉	豊田 一弘
中島 啓	長門 直	中野万有里	中村 孝人	中山 晴雄	永吉 洋介	西馬 照明	西岡 弘晶
西川 仁	法月正太郎	福田 雄一	藤森 誠	藤原 宏	保科 斉生	松永 展明	的野多加志
三河 貴裕	明貝 路子	村中 清春	森岡 悠	柳井 真知	山田 充啓	横田 和久	吉田菜穂子
吉見 竜介	米田 和夫	和田 達彦					

2) 更新者 179名

3) 指導医 30名

4) 感染症専門医認定研修施設 255施設 (ホームページ参照)

5) 専門医育成経過措置としての連携研修施設 58施設 (ホームページ参照)

6) 感染症サマースクール2015

平成27年8月7日(金)～8日(土) 品川プリンスホテル

参加者: 67名

7. ワクチン委員会

- 平成27年11月29日(日)に大阪国際会議場において市民公開講座「ワクチンで変わる、感染症とのたたかい2015」を開催した(参加者:362名)。
- 日本呼吸器学会と合同で「65歳以上の成人に対する肺炎球菌ワクチン接種に関する考え方」アップデート版を作成し、HPに掲載した。2015年9月5日。

8. ガイド・ガイドライン作成委員会(日本化学療法学会と合同)

- 「JAID/JSC感染症治療ガイドライン2015 尿路感染症男性性器感染症」を感染症学雑誌90巻1号に掲載した。
- 「JAID/JSC感染症治療ガイドライン2015 腸管感染症」を感染症学雑誌90巻1号に掲載した。
- 呼吸器感染症ガイドラインをJICに投稿した。オープンアクセスにて掲載予定。

9. 危機管理委員会

- 1) 蚊媒介感染症専門医療機関ネットワークの立ち上げ
- 2) 蚊媒介感染症専門医療機関対象講習会開催
- 3) 市民公開講座4ヶ所開催（東京、奈良、松山、長崎）
- 4) 第58回中日本・第85回西日本・第63回西日本化療時に特別報告を行った。

10. 四学会合同事業セミナー

8月16日（日）によみうりホールにおいて「重症化する感染症とその対応～MERSコロナウイルス感染症を中心に～」を開催した。（参加人数：235名）

11. 11月1日（日）イイノホール&カンファレンスセンターにおいて「新型インフルエンザの診療に関する研修」を日本呼吸器学会と共催して行った（主催：厚生労働省）。プログラムについては厚生労働省HP参照。
12. 4月24日（金）第5回日本微生物学連盟主催市民フォーラム「長寿社会における感染症への対応～元気なお年寄りであり続けるために～」に共催した。
13. 平成28年2月1日新規抗菌薬の開発に向けた提言「世界的協調の中で進められる耐性菌対策—提言発表の背景と目的—」を8学会共同で発表した。
14. 三学会合同抗菌薬感受性サーベイランス委員会
第7回（2015年）耳鼻咽喉科領域、急性膀胱炎、複雑性尿路感染症
15. ICD制度協議会 新規認定者 156名 更新者 511名

※上記事業報告については、感染症学雑誌に掲載の議事録参照。

庶務報告

1. 会員数 正会員：11,110名 賛助会員：18件 平成28年2月29日現在
除名については該当者無し
2. 第89回日本感染症学会総会は平成27年4月16日、国立京都国際会館において行った。
3. 平成27年度評議員会は平成27年4月16日、国立京都国際会館において行った。
4. 理事会は6回行った。
5. 感染症学雑誌編集委員会は6回行った。
Journal of Infection and Chemotherapy編集委員会は6回行った。
6. 学会賞選考委員会は1回行った。
7. 専門医審議会は1回行った。専門医試験委員会は10回行った。
8. 感染症セミナー会議は4回行った。
9. リネゾリド適正使用推進委員会は1回行った。
10. 肺炎球菌血清型別調査ワーキンググループは1回行った。
11. 薬剤耐性感染症を対象とした抗菌薬ガイドライン作成に関する合同委員会は1回行った。
12. 四学会理事長懇談会は1回行った。
13. 経理事務打合会は1回行った。